

# オプトアウト文書

西暦 2022 年 3 月 4 日

「母乳率の推移に影響を及ぼした因子の検討」に参加される対象者および保護者の方へ（研究に関する情報）

母乳育児・母乳栄養は母子にとって多くのメリットがあると言われています。当院は、2001年に赤ちゃんにやさしい病院（Baby Friend Hospital 以下BFH）の認定を受け、日々母乳育児支援に取り組み、母乳育児を推進しています。

今回、看護部産婦人科病棟では、以下の研究を実施しております。この研究の実施にあたっては、当院倫理審査委員会の承認ならびに、病院長より許可を受け、倫理指針および法令を遵守して実施します。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の相談窓口へお願いします。

[研究課題名] 母乳率の推移に影響を及ぼした因子の検討

[研究責任者名・所属] 三重中央医療センター看護部 東4病棟 東 真由美

[研究の目的]

母乳育児・母乳栄養は母子にとって多くのメリットがあると言われています。当院で出産された方の過去のデータから母乳率の推移に影響を及ぼした因子を明らかにし、よりよい母乳育児支援方法を見出し、今後母乳育児を広め母親と子どもの健康維持・向上を期待することを目的としています。

[研究の方法]

## 1. 対象

2010年1月1日～2021年3月31日に三重中央医療センターで出産された母児(37週以降、2500g以上、母子同室を行った母児)のうち本研究への参加同意を得られた方を対象とします。

## 2. 利用する情報

妊娠・出産・新生児に関する情報

## 3. 研究期間

研究を行う期間は、倫理審査委員会承認日より2025年3月31日まで

## 4. 共同研究機関

ありません

## 5. 個人情報の管理について

研究対象者となる方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。また、研究への参加拒否、同意撤回された方に不利益が発生することはありません。

個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化管理などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

## 6. 医学・看護学上の貢献

本研究により対象者となった方が直接受けることができる利益はありませんが、本研究を行うことで、母乳育児に影響を及ぼす因子を明らかにでき、より良い母乳育児支援を助産師が行うことができるよう

## オプトアウト文書

になると考えています。その結果、母乳育児を広め母親と子どもの健康維持・向上に繋がると考えます。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者となった方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

三重中央医療センター 看護部東4病棟 助産師 東 真由美

TEL: 059-259-1211